

開館記念講演会



5月14日、「おはなしおばさん」^{ふじた}藤田浩子さんを迎え、昔話やわらべうたを楽しみました。

移動図書館車出発式



「なかよし号」「こだま号」に、新たに「ふれあい号」(中央図書館)「やまなみ号」(用瀬図書館)「つばさ号」(気高図書館)が加わり、移動図書館車が計5台になりました。

開館日の風景



平成17年5月1日。駅南庁舎での開館初日。この日、1日で1,632人もの入館者がありました。

特集

暮らしの中に図書館を

市立中央図書館 開館1周年

昨年5月1日、市役所駅南庁舎2階にリニューアル・オープンした鳥取市立中央図書館が、おかげさまで開館1周年を迎えました。

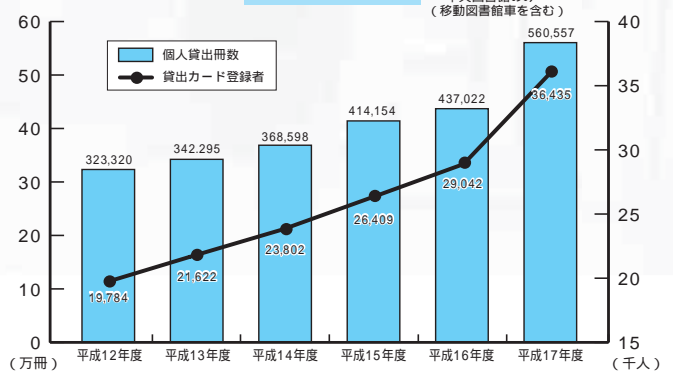
入館者数は11カ月間で合計334,978人。1日平均1,309人が来館されたこととなります。本館に来館された利用者の個人貸出冊数は490,088冊(旧館での4月分を含むと495,146冊)で、5月以降の統計数値で比較すると前年度の約1.5倍となります。

また、用瀬、気高の2つの地域図書館や移動図書館車での貸出し、そして3館の団体貸出しも合わせると727,474冊。さらに、国府町、福部町、青谷町、鹿野町、河原町、佐治町の6つの中央公民館図書室の貸出冊数を

合わせた総合計は794,856冊になります。

市立図書館は、みなさんの暮らしの一部になれるよう、これからも心のこもったサービスの提供に努めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

利用状況の推移



大学図書館と相互協力の協定



9月30日、鳥取大学附属図書館および鳥取環境大学情報メディアセンターの両図書館と相互協力に関する協定の調印式を行いました。

本のリサイクル市



11月19・20日の2日間、多目的ホールで開催。1,900人の来場者があり、約7,000冊の本が再利用されました。

ボランティアによるおはなしかい



絵本グループ「あじさい」のみなさんによるおはなしかいは、市民図書館の時代から20年も続いている人気行事です。